

平成30年度 亥さん午さん達の田作り

～第12期大椎っ子田んぼ、第9期あすみっ子田んぼ 田植え編～

大椎小は4月10日、あすみ小は6年生3人が5月6日に苗代を作りましたが、1ヶ月もあれば育つ苗も今年はなかなか大きくならないだけでなく、大椎小の種籾は雨で半分くらい流れてしまいました。しかし、田植えを終えた地元の方が残った苗を分けてくださったり、苗の育ちの悪かったあすみ小の苗代に苗の育ちを促進する魔法のシートを貸して下さったりと、地元の方々のお心遣いのおかげで両校とも無事に田植えできました。ありがとうございました。

◎大椎っ子田んぼ (5月11日実施)

★田んぼは意外とぐちゃぐちゃしていた。苗がたくさんあってびっくりした。自然観察で、オタマジャクシがミミズを食べていたり、3cmくらいのクモがいたりしているのを見て、びっくりした。(S.H)

★ドロの中に入ってあんなに歩いたのも田植えも初めてでどうすればよいかわからなかったけど、教えてもらいちゃんとできた。田植えは大変な仕事だと思った。(H.H)

★初めての田んぼは楽しかった。理由は、田んぼに足を入れるとボコボコと沈むからだ。苗を植えるのは慣れなくてうまくいかなかったけど、やっているうちに慣れてきた。田んぼに入っているいろいろな虫がいるなど思った。オタマジャクシ、カエル、クモなどがいた。(S.M)



(C.S)

★初めて田んぼに入ったが、ヌルヌルして気持ちよかった。深い所はひざの上までもぐってしまっ、ズボンがドロだらけになった。田んぼの中

には、タニシやアメンボ、ザリガニ、クモ、そしてタマゴを積んだへんな虫がいた。とても楽しかった。(S.Y)

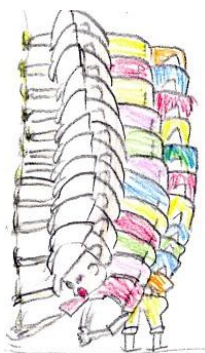
★足が思ったより深く入ってしまい、びっくりした。田植えは楽しかった。田植え中にカエル、ザリガニ、タニシなどいろいろな生き物がいて、自然を感じた。(H.O)

★初めて田んぼの中に入ってびっくりした。足がどんどんすいこまれ、とても寒かった。それに虫がたくさんいて、いやだった。特に私がきらいなクモがいた。田植えをしていたら足がつまって歩けなくなって、つらかった。でも慣れてくると、気持ちよく感じた。虫は、最初は気持ち悪いとか、きゃ～とか言っていたけど、かわいそうだと気づいた。次は虫とふれあってみたい。(K.B)

★田んぼに入るとドロドロで気持ちよかった。深い所にはまるとなかなか足がぬけなかった。

1本1本苗をとって手で十を作り人差し指と中指の間に根っこおいてドロにさして立てればできた。初めて田植えをした。農家さんがこんなに大変な思いをしていることを初めて知った。稲刈りまで頑張りたい。(N.T)

★田植えでいろいろな生き物を見た。決まった所に苗を植えるのは、むずかった。田んぼの中は冷たかったけど、少しずつなれた。(K.I)



(H.O)

★田んぼの中はすごく冷たくドロドロしていて歩きに

くかったけど、少しずつなれて、気持ちよかった。自然観察では虫やオタマジャクシがたくさんいた。カエルのタマゴを友達が見つけてすごいと思った。(K.K)

★田んぼに入る前、どんな感じがドキドキしたが、田んぼの土がおもしろい感覚で楽しかった。苗を植えていたら腰が痛くなったが「植えるのが上手だね」と言われて痛みはすぐに忘れた。自然観察では普段見ない生き物たちに会えてうれしかった。お米はこんなに努力して作られているんだと知ることができた。(I.S)

★田んぼの中は、最初は気持ち悪かったが、だんだん気持ち悪くなりまた入りたいと思った。自然観察でカエルのタマゴを触った。めちゃプルプルだった。(C.S)

★最初は怖かったけど、なれてきたら、楽しかった。田んぼの中は温かい所があったりした。深い所や浅い所があると聞いて、私は怖かったので、浅い所に植えた。次の草刈りも頑張りたい。(Y.S)

★田んぼの中にオタマジャクシやザリガニがたくさんいておもしろかった。オタマジャクシは足が生えているのにしっぽも残っているのもいた。水中をバタ足で泳ぐ虫もいた。白くてメレンゲみたいなカエルのタマゴを見つけた。(S.S)

★一番深い所で田植えをした。半ズボンのすそくらいまでの深さでびっくりした。おもしろかったけど、腰が痛くなった。田植えに夢中になっていたら、急にザリガニが出てきて、びっくりして、たおれそうになった。すごくおもしろかったので、また、いきたい。(K.M)



(T.N)

◎あすみっ子田んぼ (6月1日実施)

★根を切らないように、ゆっくりとなえをひいた。根は切れやすいので、じゅもんのように「ゆっくりと根を切らないように」と心の中で言いながらなえをとった。次にそのなえを土の中にいれた。田植え前の説明で「根を曲げないように指も一緒に入れてやりましょう」と言っていたので、きんちょうしながらゆっくりやった。一人12本も植えるので、とても時間がかかってしまったけど、1本で1000～2000というお米がとれるので、いっしょうけんめいやった。でも、こんな体験ができてうれしかったし、みんなと楽しくできたのでよかったです。(H.S)



(C.I)



★初めて田植えをしてすごく大変だとわかった。なえはそっと植えなければいけないとか、根っこは人間でいう足だと初めて知った。また、お米を作る時には、たくさんの生き物をころしてしまっているという事も心にしまっておきたい。お米を作る時には、たくさんの人への感謝の気持ちを忘れずに、大切に育てていきたい。(A.T)

★一番はじめに田んぼに入った時にぬめぬめしていて、おくに行けばどんどん深くなっていった。かえるやおたまじゃくしがいっぱいいたし、自分のすねあたりまでどろがあった。田んぼボランティアの方々が手伝いやアドバイスをくれてうまく植えられた。夏、秋に行くので今よりもうまくできるようにがんばりたい。(H.S)

★最初に自然観察をし、次に田植えをした。はじめはかえるやおたまじゃくし、あめんぼなどの虫がこわくてできなかったけど、後半はなれてきた。田植えは少し大変だったけど、田んぼに入った時とても気持ち良くてとても楽しかった。ボランティアの方々と教えてくれた方がいてくれたおかげで無事に田植えができたので、次の草取りでもボランティアの方々に迷惑をかけないようにしたい。あすみ田んぼが終わるまでに、一つ一つの行動を態度や感情で表したい。あと、お米をおいしく作るためにちゃんと育てていきたい。(S.S)

★田植えは簡単だと思っていたけど、心がけることがたくさんあった。でもすごく楽しかった。たけいさんがなえの持ち方や注意を教えてくれたり、ボランティアの人たちも、ぼくたちのためにやってくれた。田んぼに入った時のかんしょくは、ヌメヌメしていた。田植えのときは、教えてもらった持ち方でなえがたつようにいれた。なえは少しさらさらしていた。なえがそだつのがたのしみだ。はやく自分たちでつくったこめをたべたい。(K.N)

★はじめはうまくできるか不安だったけど、しっかり話を聞いてやる事ができた。なえのたばからなえを1本ずつとり植えた。ボランティアの人がコツを教えてくれて簡単にやる事ができて良かった。うしろに一歩ずつさがり、2列やった。農家の人はいきれいな列でなえを植えていると考えたらすごいなと思った。また今度は草刈りがあるので、その時もがんばりたい。(U.W)

★初めて田んぼに入り、土が思っていたよりかたい所や深い所があったので、びっくりした。なえを植えるとき、真っすぐ植えるのがむずかしかった。なえがたおれたの

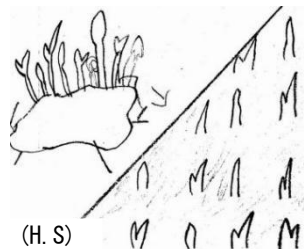


(M.S)

で土をそえたりした。昔の人は、こんな風にやっていたんだなと思った。私が昔の人だったら、すぐにあきてやめてしまうなと思った。まだまだ長い時間がかかるので、その間がんばってお米をおいしく育てたい。(C.M)

★私は初めて田んぼで田植えをした。田んぼの中に入るとあめんぼやかえるなどの生き物がたくさんいて、おどろいた。たけいさんが教えてくれたとおりに田植えをやり、とても上手にできた。一つの稲に1000、2000もの米つぶができると教えてくださり、1本ずついねいにくえた。ボランティアの方々も手伝ってくれたのでより上手にできた。これからどんな風にいねが育ってくれるのかとても楽しみなので、がんばりたい。(M.S)

★初めての田んぼははだしで入ると足がべとべとぬめぬめになった。動く足がはまっちゃって出るのが大変だった。米を育てていた昔の人の大変さがわかった。苗を植えるのは難しかった。植えようとすると、後ろに「おとと」となりそうだった。まとまった苗をほぐすのも、根と根がからまって、なかなか1本だけできなかった。昔の人は手作業でお米を育てていたので、すごいなと思った。むずかしいけど、とても楽しかった。(Y.K)



(H.S)

★田植えをして、足や手がとてもどろがいてびっくり、田んぼの中で歩きにくかった。これをやっているみなさんは大変だなと思った。田植えのコツを教えてもらってきれいに植えることができた。たくさん植えられた。田んぼの中に虫がたくさんいてその虫がなにかしてくれているのかな?と思った。今回、田植えをして、次回が楽しみになった。早く成長してほしい。(R.T)

★田植えをして、足や手がとてもどろがいてびっくり、田んぼの中で歩きにくかった。これをやっているみなさんは大変だなと思った。田植えのコツを教えてもらってきれいに植えることができた。たくさん植えられた。田んぼの中に虫がたくさんいてその虫がなにかしてくれているのかな?と思った。今回、田植えをして、次回が楽しみになった。早く成長してほしい。(R.T)



★色々な生きものを観察してすごく楽しかった。トンボなど色々いました。名前を付けて楽しかった。(R.K)

★田んぼの中は思ったより深かった。クモやアメンボ、おたまじゃくしなどたくさんの生き物がいた。(N.K)

★私は自然観察がとても楽しかった。たくさんの虫と触れ合うのが、とても楽しかった。(M.U)

★田んぼのまわりには、かわいい動物から苦手な虫もいた。でもどれも自然を感じた。自分にあったすみかというのも学べてよかった。(R.S)

★色々な生き物の名前を教えてくれたり、自分たちで名前を付けたりして楽しかった。(H.S)

★学校の周りにも虫がたくさんいるような場所があるんだと思った。虫を観察して意外なことも知れた。(C.Y)

★田んぼには色々な生き物がいっぱいいて、くものしゅるいやなまを覚えてうれしかった。(M.Y)

★色々な生き物を見つけることができた。おたまじゃくしが一番取れた。また、体験したい。(M.T)

★田んぼの中でしか見られない虫がいっぱいいた。田んぼにクモがいたのがびっくりした。(Y.T)

★田んぼには色々な植物、生き物がたくさんいた。名前をつけたので、一生の思い出になった。これからもいろんな生き物、植物を見つきたい。(N.O)



里山たんけんレポート

第221回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2018年6月3日(日) 晴れ

道路沿いの若いエノキの葉を巻くヒメゴマダラオトシブミが見つかりました。揺籃作成中ではありませんでした揺籃はいくつも出来上がっていました。エゴノキではエゴツルクビオトシブミの揺籃がたくさんぶらさがっていました。葉にいる雄と雌も見られました。クリの葉ではゴマダラオトシブミ、コナラでヒメクロオトシブミの揺籃も見られました。小さな体で誰に教わるでもなく精巧な揺籃を作ることに感動しました。

林内の枯れ木置き場ではゴマフカミキリやウスモンカレキゾウムシがいました。林内の花ではクモキリソウやイチヤクソウがひっそりと咲いていました。

ホオジロ、オオヨシキリ、ウグイス、ホトトギス、キジの囀りが聞こえていました。キビタキは居着いたようで今日も声が聞こえました。また猛禽も谷津上空を横ぎりしました。

(大人7名、小学生1名、 報告・写真 網代春男)



第222回 下大和田 YPP「田の草取り」

2018年6月9日(土) 晴れ

稲の生育を阻害する田んぼの中に生えてくる草々を取りました。草の中にはトチカガミなどレッドリストに記載された保護を要するとされるものもありますが、下大和田谷津のような環境が維持されていれば絶えることはないのので田の中にあるものは取り除きました。草取りは午前中で終了、午後からはザリガニ釣り大会を行いました、高学年、低学年、幼児の3組に分けて、それぞれの中で釣った数を競いました。20分の制限時間の中で9匹釣った高学年の部の石井克実君が最高数でした。

蒸し暑い日でしたが、暑さを忘れて楽しみました。

参加 大人36名、小学生27名、幼児11名
報告・写真 網代春男)



第157回、158回 小山町 YPP「古代米・緑米の田植え」

2018年6月16日(土) 雨



11日は、数日前よりしっとりと降り続ける雨の中、カッパを着て YPP 田んぼ(NO.191 図参照)に古代米の田植えを行いました。天気も悪く田んぼの半分位植えられれば御の字と予想していましたが、本職の方達からも田んぼの技術を認められているメンバーの上手な誘導で、急ピッチに進行して、全面田植えを終了することが出来ました。一時、雨は強くなって来ましたが、雨粒に打たれる苗はあちこちで揺れて喜んでいる様。気持ちはとても晴れやかな気分になりました。

(参加 大人4名 報告・写真 たんぼぼ)

2018年6月30日(土) 晴れ



関東地方は29日に梅雨明けが宣言されました。30日は猛暑の炎天下でしたが、一層作業を進めるため、当初の予定に加えて作業日を設けました。あざみ谷4番(NO.191 図参照)では緑米の田植えを実施、メンバーのご家族もお手伝いに来て下さって、かなり進みました。また、小学校田んぼの周囲では5月より進行中の水循環改良の水路整備の一環で、子どもたちが何度も通っても壊れないような、丈夫な丸太の小橋を渡しました。今年の田植えもあともう少し、水路整備も佳境。がんばって進めていきたいです。

(参加 大人7名 報告・写真 たんぼぼ)

<谷津田・季節のたより>

小山町

- 6月5日 真っ赤なショウジョウトンボを1頭目撃。キビタキ、ホオジロのさえずりを聴く。(高山)
6月16日 スイレンの花が咲く。(たんぽぽ)
6月22日 キツリフネ、黄色の花咲かす。タ方、ヒグラシ鳴く。(赤シャツおやじ)
6月30日 ニイニゼミ初鳴き、ショウリョウバッタ、ヒメギスの終齢土手の葦間をウロウロ。(赤シャツおやじ)

下大和田

- 6月23日 カナブン発生、樹液にくる。(網代)
6月24日 アカネ羽化始める。(網代)
6月26日 カトムシ発生。(網代)
6月29日 梅雨明けニイニゼミ鳴く。(網代)
6月30日 ヒグラシ鳴く。(網代)

イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ? と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、谷津田プレーランドプロジェクト(YPP)のイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうしで、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先(いずれも): ちば環境情報センター (TEL&FAX: 043-223-7807 E-mail: hello@ceic.info/)

- ご注意: ・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないでください。
・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。
・小学生以下のお子さんは保護者同伴で参加ください。
・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任でお願いします。

▼第224回下大和田 YPP「かかし作り」

田んぼの守り神「かかし」を作ります。

- 日時: 2018年8月11日(土) 9時45分~15時 ☆小雨決行
場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。)
集合: 現地9時45分 初めて参加する方は駐車場や会場をご案内しますので事前に、網代(あじろ)090-2301-0413までご連絡ください。
交通: JR千葉駅10番成東あるいは中野操車場行きのちばフラワーバスで中野操車場バス停下車、徒歩5分で現地。<千葉駅発8:25、8:40など、所要時間45分>料金は540円。
持ち物: かかし作成用の不要になった古着、顔用に白い布など。他、弁当、飲み物、帽子、軍手、着替え、長靴、敷物など。
参加費: ちば環境情報センター会員および家族100円、一般300円、小学生未満無料
主催: ちば環境情報センター 共催: ちば・谷津田フォーラム

▼里山くらぶ 森と水辺の手入れ

山林内の下草刈りをします。

- 日時: 2018年7月15日(日) 9時45分~14時 ☆小雨決行
場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(同上)
集合: 現地9時45分 初めて参加する方はご連絡ください。(同上)
持ち物: 弁当、飲み物、帽子、軍手、長靴、長袖長ズボンの服装、敷物など
主催: ちば環境情報センター

▼第223回下大和田谷津田観察観察会とゴミ拾い

小川の生きものの観察をします。小川へ入って魚や、水生昆虫を探します。

- 日時: 2018年8月5日(日) 9時45分~12時 ☆雨天決行
場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(同上)
集合: 現地9時45分 初めて参加の方はご連絡ください。(同上)
持ち物: 筆記用具、飲み物、長靴、帽子、敷物、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当など
参加費: 100円(小学生以上、資料代など)
主催: ちば・谷津田フォーラム、ちば環境情報センター



撮影 たんぽぽ

▼第159回、160回 小山町 YPP「緑米の田植え・田んぼの草取り」

緑米の田植えを終わらせ、田んぼや畦に伸びた草を刈ります。

- 日時: 2018年7月8日(日)、14日(土) 10時~12時30分 ☆小雨決行
場所: 千葉市緑区小山町 リンドウ広場(ご連絡いただければ地図をお送りします)
持ち物: 飲み物、長靴(長めのもの)、帽子、軍手、敷物。
参加費: 100円(小学生以上、資料代など)
主催: ちば環境情報センター

■編集後記 今月号では、あすみ小学校、大椎小学校、各田んぼの田植えに臨んだ子どもたちの声をお伝えしました。多くの子どもにとって、初体験となった田んぼ作業では、新鮮な驚きと感動が、眩しいくらい鮮烈に炸裂しています。さて、関東地方での6月中の梅雨明けは過去最速との事。これから盛夏を迎え、作業は猛烈な暑さと、旺盛な草との闘いです。熱中症に注意!! (赤シャツおやじ)